

たゞは、争議は、労働者側を多くするものなるべしとある。要する労働者側の結束如何んです。

五、

今の所争議団は鉄の如くかたくなで、まつてゐますから此の上東村は出ま
せんが、私達のものたりないのは、皆
皆さんが猶働いてゐられることでは
なとより此の際おとなしく工場に
働いてゐれば、おちりぬるべく、心
配は存い、工場主の事務所に、お
おられたい、お人を持別の貰ひもの
があつて、皆の老の利益があるやう
に思ふでせうが、然し人間と言ふもの
は、そんなものにはありません。

六、

自分が首がいやなり人おいやです。
首が厭なことは争議団にあるものも
充分知つてゐるに、お閉りす争議をや
るのには、今の労働条件ではほんとう
に惨めであつて満足を生産が出来な
いから首の危険をかりてや去らやま
れお争議をやつてゐるのです。